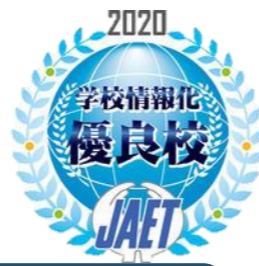


最終案内

兵庫教育大学附属中学校



令和2年度 実践報告会のご案内

総合的な学習の時間を主軸とした教科等横断的なカリキュラム・マネジメント研究（4年次）
<報告内容>
 コロナ禍での兵教大附属中は**ICT推進・活用**をどのように加速させたか
 ～物事を多角的に理解し、新たな価値を「共創」する生徒の育成に向けて～

(キーワード) ICT活用、GIGAスクール構想、共創、カリキュラム・マネジメント、クロスカリキュラム、総合的な学習の時間、探究学習、業務改善



期日 令和3年2月19日(金)

会場 完全オンライン開催
(Zoomを使用します)

日程

8:45	9:00	9:45	10:00	11:00	11:10	12:10	12:20	12:40	13:40	15:10	15:20
オンライン受付	基調提案 全体会	休憩・準備	分科会Ⅰ (教科)	休憩・準備	(業務全般) 分科会Ⅱ	休憩・準備	学習・成果発表 キャリア探究	昼食休憩・準備	教育フォーラム	閉会行事	

申込み

- 参加費
- 申込締切
- 申込方法

無料

令和3年2月17日(水)

右記QRコードより申込専用フォームをダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。
 本校ホームページ (<https://www.hyogo-u.ac.jp/middle/>) からもお申し込みいただけます。



兵庫教育大学イメージキャラクター

専用フォーム
ダウンロード



教育フォーラム

13:40~15:10

未来の学校はどうあるべきか～カリ・マネ×GIGA・ICT活用の視点から～



そよだ じゅんこ
曾余田 順子氏

教育経営研究者

現在、学校経営(学校づくり・教育づくり)に関するプロセス・コンサルテーション、コーチングやマネジメント・コンサルテーション・生涯学習に関する研修等を実施し、活躍の幅を広げている教育経営研究者。
 コーチングにこだわりながら、「真に教育的な人・もの・ことに関わり方」「日々の生活が真に教育的であること」をテーマに、人や組織の力や可能性を引き出す学びを支援し成長・成熟に資するエコロジカルなコミュニケーションのあり方を実践的に研究している。

兵庫県教育委員会事務局教育企画課 課長 (文科省より出向中)

2009年文部科学省に入省。文部科学省では、文化財の保存・活用、学校施設整備、直近では、幼児教育の無償化の制度創設やそれに伴う幼児教育の質の向上施策などに取り組む。
 2020年4月から兵庫県教育委員会事務局へ出向し、教育企画課長として、「ひょうご教育創造プラン」の推進、防災教育、教育の情報化などを担当。中でも、教育の情報化については、県立学校のICT化をはじめとする兵庫県内のICT教育環境の整備に向けて取り組んでいる。



たかはし のぶゆき
高橋 伸之氏



もりやま じゅん
森山 潤氏

兵庫教育大学 大学院 教授

理論と実践との統合的なアプローチから、情報教育・ICT活用教育・技術教育等について、生徒の認知的実態の分析に基づく学習指導の改善研究に取り組んでいる。
 日本産業技術教育学会奨励賞、論文賞、日本教育情報学会論文賞など受賞。
 ・国立教育政策研究所:評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究協力者
 ・文部科学省:学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者
 ・兵庫県教育委員会:兵庫県版プログラミング教育スタートパック構築事業協議会委員長 その他著書に「子どもが小さなエンジニアになる教室 イノベーション育成を図る中学校技術科の授業デザイン」(2016,4,ジアース教育新社)等。

昭和女子大学 准教授 現代教育研究所 副所長

教育学(カリキュラム論、組織開発論、学力論、ポジティブ教育)が専門分野である。自らの強みに光を当て育むことが幸せにつながるとし、教育に携わるすべての人の「強み」や「やる気」を引き出している。
 著書『イラスト版 子どものためのポジティブ心理学:自分らしさを見つけやる気を引き出す51のワーク』(2017,合同出版)等がある。



ゆるり まこと
緩利 誠氏

実践報告会について

- ・Zoomによる完全オンライン開催となります。初めての方も是非ご参加ください。
- ・お申込みいただいた方のみ、参加用ミーティングIDと実践報告会専用特設ホームページのURLを電子メールにてお送りいたします。
- ・途中退出や途中参加も可能です。事前に受付をお済ませください。
- ・参加方法が不明な方は、以下の連絡先へお問い合わせください。
- ・録音・録画はお断りしております。ご理解ください。

兵庫教育大学附属中学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2007-109
 TELL: 0795-40-2222 FAX: 0795-40-2225

問い合わせ先 (兵庫教育大学附属中学校 研究部)
 E-mail ktaharab@hyogo-u.ac.jp (主任: 田原春)

お申し込み

申し込み完了

2月上旬メールにて
 ①ZoomミーティングURLやID、パスワード
 ②実践報告会専用特設ホームページURL
 2点(予定)を電子メールにて送信

当日、Zoomにて参加

分科会 I

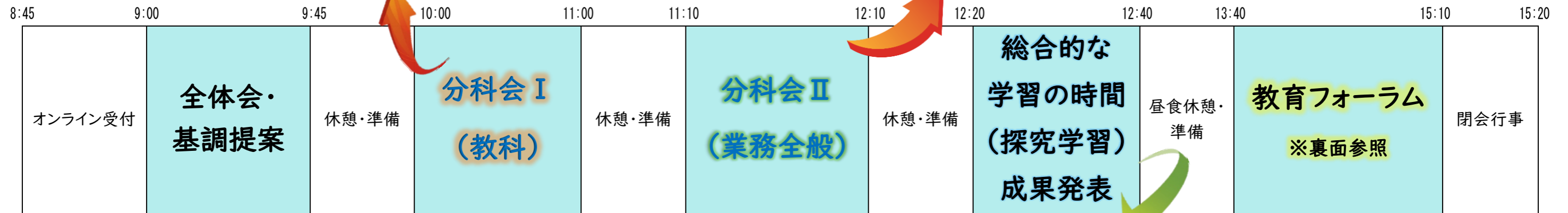
10:00~11:00

分科会名	発表テーマ	アドバイザー
国語	深く読み、豊かに表現する ICT 活用法について	兵庫教育大学大学院 教授 羽田 潤
数学	(コロナ禍である現状もふまえて) ICT 活動をどのように取り入れてきたかの報告	兵庫教育大学大学院 教授 國岡 高宏 兵庫教育大学大学院 准教授 加藤 久恵 兵庫教育大学大学院 准教授 吉川 昌慶 兵庫教育大学大学院 准教授 川内 充延
社会	G-suite 活用実践から見てきた、学びの「つなげ方・広げ方」「深め方」のこれから	兵庫教育大学大学院 准教授 福田 喜彦 兵庫教育大学大学院 助教 阪上 弘彬
理科	PBL(問題解決型学習)による多面的に物事を考え、「共創」する生徒の育成 変数を組み込んだ論理的思考力を養う理科授業実践	兵庫教育大学大学院 教授 松本 伸示 兵庫教育大学大学院 特命助教 福井昌則
英語	ライティング課題の評価規準作成とその評価/思考判断表現×クロスカリキュラム×ICT 活用=オリジナル教科書作り/ICT 機器の効果的な活用について	関西大学 教授 今井 裕之
保健体育	自律型学習者の育成×生徒主体の授業づくり	兵庫教育大学大学院 講師 中須賀 巧 追手門学院大学 教授 有山 篤利
美術・音楽	(美術)クラウドファンディングと美術作品 (音楽)コロナ禍における ICT を活用した音楽科授業の実践	兵庫教育大学大学院 教授 高木 厚子 兵庫教育大学大学院 准教授 河内 勇

分科会 II

11:10~12:10

分科会名	発表テーマ	アドバイザー
総合的な学習の時間(探究学習)	「つながり」から培う、ミライを切り拓く力~ICT 活用の可能性とこれから~	兵庫教育大学大学院 教授 森 秀樹
道徳	一人一台のタブレットを活用した道徳の授業~効果的な意思表示と対話への仕掛けについて~	兵庫教育大学大学院 教授 谷田 増幸
職員研修・研究推進	学校における ICT 導入への職員研修等の効果的な在り方	兵庫教育大学大学院 准教授 伊藤 博之
導入過程・経緯、GIGA スクール構想	chromebook 導入と GIGA スクールの今後	兵庫教育大学大学院 特命助教 福井 昌則
生徒会・行事運営等	ICT を活用した生徒会活動の活性化とコロナ禍での行事運営の工夫	三木市立星陽中学校 校長 計倉 哲也
特別支援・個別支援	休校中の ZOOM 活用による支援 ICT 活用による支援とディスレクシア、不登校傾向生徒への支援	兵庫教育大学大学院 教授 宇野 宏幸
業務全般・生徒指導・部活動指導等	業務改善 ~安心・安全な新しい学校生活 with コロナ~	兵庫教育大学大学院 教授 小西 哲也



総合的な学習の時間(探究学習) 成果発表

12:20~12:40

本校では、平成30年度より総合的な学習の時間を主軸とした教育活動を展開しています。令和2年度では、総合的な学習の時間における探究学習の規模が縮小されました。その中でも地域の企業や団体と一緒に、「未来に対する答えのない問い」について、表現活動を通して発表します。是非、ご覧ください。

「真の国際支援とは」

協力：OneDrop・大西 登志子氏



班ごとに「国際支援計画」を立てました。
<ここまで> バングラディッシュ国際支援団体と共に、「自分たちにしかできない国際支援のあり方」を学んでいます。実際に兵庫在住のバングラディッシュ人の方に来てもらったこともありました。文化・環境・治安など、すべて違う海外の人をどのように支援するべきなのか、難しい課題に立ち向かっています。



「教育にユーモアを~落語教育~」

協力：花まる学習会・小幡 七海氏

班ごとに「創作落語」を計画・実践しました。
<ここまで> 「日々の学習の中にユーモアを!」をモットーに創作落語に取り組んでいます。同音異義語やなぞかけ等です。この探究学習を通して、日々のネガティブなことも、ユーモアをもってポジティブに換えていければいいと思います。ここでは「笑換力」と呼んでいます。笑顔がステキな授業です。



「伝統文化の在り方~創作よさこい~」

協力：兵庫教育大学よさこい部



兵教大よさこい部
↑Instagram ↑



こだわりと伝統を考えながら「創作よさこい」を行いました。
<ここまで> よさこいは戦後に高知から全国へ広まりました。その途中に、元々のよさこいは随分と姿や形を変えてきました。歴史や伝統を踏まえた上で「あなたが思う”よさこい”って何だろう」という問いに向かい、実際の踊りで答えを表現します。